

麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起について

令和 7 年 7 月 1 日に麻しん患者が発生し、周囲に感染させる可能性のある時期（令和 7 年 6 月 28 日）に当院を利用していることがわかりました。不特定多数の方と接触した可能性があるため、該当する方は健康状態にご注意いただくとともに、麻しんの症状が現れた場合は、事前に電話連絡の上、受診の検討をお願いいたします。

尚、現時点で当院を利用されても、感染の心配はありません。また、保健所の調査により既に特定できている接触者に対しては個別に連絡済みです。

当院は、空気感染を防止するべく、院内換気に努めております。

記

【麻しん患者が不特定多数の方と接触した可能性のある日時】

令和 7 年 6 月 28 日（土）10 時 30 分頃から 12 時 45 分頃（実際の滞在時間は、10 時 30 分から 11 時 45 分）

【場所】

1 階フロア

【麻しんの発症を考慮し、健康状態に注意する期間】

- ・当院を同じ時間帯に利用された方は、利用後、21 日間（7 月 19 日（土））までこの期間に麻しんの症状（※）が現れた場合は、事前に電話連絡の上、受診を検討して下さい。
- （※）発熱、せき、鼻水など風邪のような症状が現れ、2～3 日発熱が続いた後に、39 度以上の高熱と全身に赤い発疹が出ます。

【受診相談】

連絡先） ●月曜日～金曜日 8:30 ～ 17:00 / 土曜日 8:30 ～ 12:00
座間総合病院 外来予約センター 046-251-8000

●上記以外の時間
座間総合病院 046-251-1311（代表）

※受診相談をされる場合は、「麻しん患者と同じ時間帯に座間総合病院を利用し、症状が出現した旨」をお伝えください。

【当院を利用される皆様へ】

麻しんについてご理解いただくために

麻しんの主な症状	○感染すると 10～12 日の潜伏期間を経て、発熱、せき、鼻水などの風邪のような症状が現れ、2～3 日発熱が続いた後に、39 度以上の高熱と全身に赤い発疹が出ます。 ○症状が出現する 1 日前から解熱後 3 日くらいまで周りの人に感染させる力があります。
麻しんの感染経路	○空気感染、飛沫感染、接触感染です。咳やくしゃみ等の飛沫からだけでなく、麻しん患者と同じ空間にいただけで感染します。
麻しん患者と接触したら	○最後に接触した日から 21 日間は毎日体温を測り、健康観察をしましょう。
麻しんかなと思ったら	○麻しんと思われる症状が見られたら、必ず事前に医療機関に連絡し、麻しんの疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従い、マスクを着用して受診しましょう。 ○受診時は、周囲への感染を防ぐために、公共交通機関の利用を避けてください。
麻しんのかからないために	○麻しんウイルスは感染力が強く、空気感染するので、手洗い、マスクのみで予防はできません。予防接種が最も有効な予防法です。 ○我が国では、1 歳時及び 5 歳時（小学校入学前の 1 年間）に定期接種として麻しんの予防接種を行っています。ご自身の予防接種歴をご確認いただき、まだ接種されていない場合は、麻しん風しん混合ワクチン（MR ワクチン）の接種をご検討ください。 ○麻しんが流行している地域へ渡航される方は、麻しんの予防接種歴を確認し、予防接種を検討してください。

